

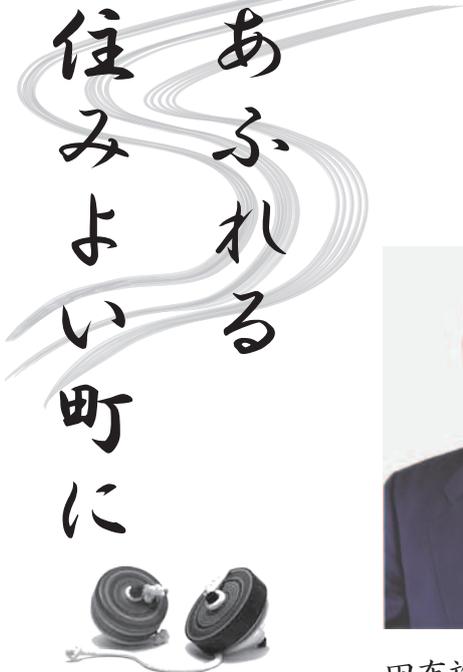
平成26年

年頭のあいさつ

笑顔と

元気あふれる

住みよい町に



田布施町長 長信 正治

新年明けましておめでとうござい
ます。町民の皆様には、希望に満ち
た輝かしい新年をお迎えのことと心
よりお慶び申し上げます。

私は、町長就任8年目の新春を身
の引き締まる思いで迎えました。
さて、56年ぶりの夏季大会となる
2020年夏季五輪・パラリンピッ
クの開催地が東京に決定しました。
これが、日本にとって経済成長復活
の起爆剤になると共に、国民が夢や
希望をもって生活でき、さらに日本

全体の活性化に繋がっていくことを
願っています。

一方、昨年7月には山口・島根豪
雨災害、10月には伊豆大島土石流災
害など、日本各地で大災害が連続し
ました。また、11月には猛烈な台風
がフィリピンを直撃し、多くの尊い
人命が奪われるなど地球規模の自然
災害が多発しています。

こうした社会情勢のもと、本町で
は、「まちづくりの推進と財政健全化
の両立」を目指しながら、「住民の安

全・安心」や「地域の活性化」等の事業
を厳選して取り組んでまいります。

防災・減災対策として、昨年12月
に県の津波浸水想定結果が出ました
ので、町域防災計画の見直し及び
津波・高潮ハザードマップ作成をす
ることとしています。また、海岸高
潮対策事業や防災行政無線のデジタ
ル化事業を引き続き実施するととも
に、新たに一本松地区の雨水貯留施
設事業や新たな街路や人家がない場
所へLED防犯灯整備事業を実施す
る予定にしています。さらに、平成
24年度よりおこなっています自主防
災会を主体とした避難訓練の実施や
自主防災組織の組織化などソフト事
業にも努めてまいります。

地域活性化では、昨年、念願の国
営ほ場整備事業の工事が着手とな
り、4月には、地域おこし協力隊員
として男女2名を委嘱し、馬島や麻
里府地域をはじめ町内各地のイベン
ト等で活躍しています。また、5月
末には町観光協会を民間主導の新組
織とし、活発な活動の展開を期待し
ているところであります。

また、多くの個人や団体が全国規
模の賞を受けるとともに、国内外で
活躍をされています。

さらに、昭和58年の岸信介氏以来、
5人目の名誉町民に(故)木村貞明氏
を推戴し、名誉町民の称号と名誉町
民賞を昨年授与しました。5人の名
誉町民は町の誇りであり、今後の町
の社会文化の勢いがさらに盛んにな
ると考えております。

町では新たな施策として、高齢者
福祉タクシーを利用いただけていな
い人を対象にした「買い物送迎サー
ビス事業」を今年7月に試行運転で
きるよう準備を進めています。その
他にも民間主導などでいろいろな町
活性化の取り組み活動が計画されて
います。

また、来年1月には1町3村の合
併から60年を迎え、10月には全国健
康福祉祭やまぐち大会「ねんりんピッ
クおいでませ!山口2015」が開
催され、本町の引受け競技であるウ
ォークラリー交流大会で全国から約
70チームを迎えることとなります。
本年は、こうした取り組みによ
り、本町が、更なる「飛躍」の年とな
るよう本町の特性を生かして、他よ
りも優れた魅力ある田布施の実現を
目指して全力を尽くすことをお誓い
し、新春のご挨拶とさせていただきます。